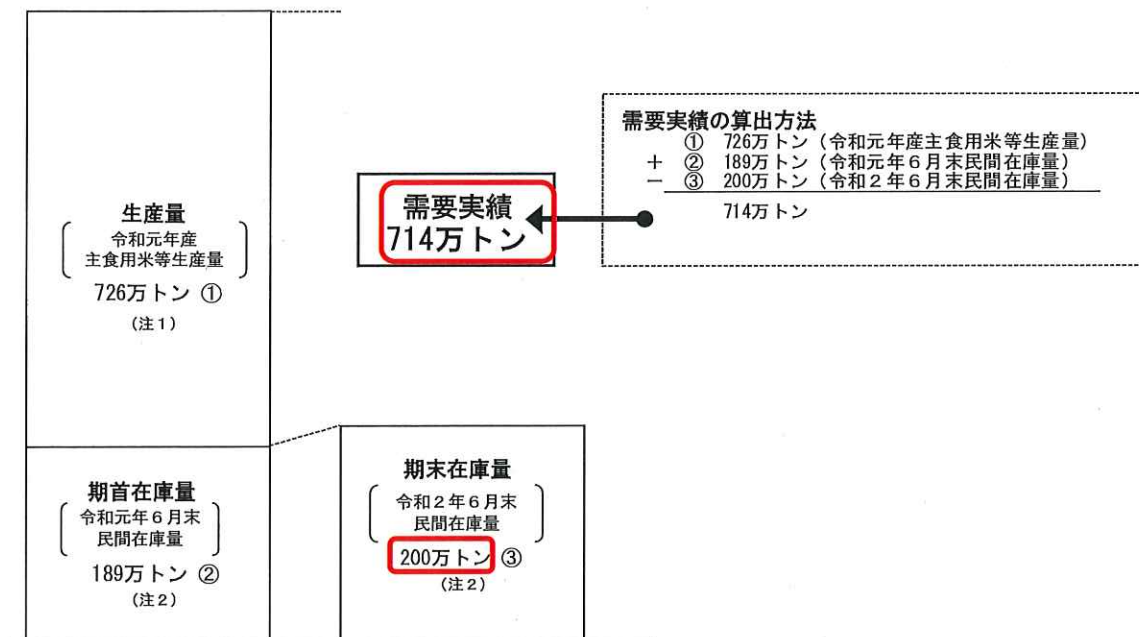


今の特集①

主食用米等の需給見通し（米の基本指針(令和2年11月5日)）

(1) 令和元/2年の需要実績（確定値）

- 令和元/2年（令和元年7月から令和2年6月までの1年間）の需要実績（確定値）は、前年（734万トン）から20万トン減少し、714万トンとなった。
- 令和2年6月末民間在庫量は、前年から11万トン増加し、200万トンとなった。



- 注1:主食用米等生産量は、令和元年産水稲の収穫量(主食用)（「作物統計」農林水産省大臣官房統計部）である。
- 注2:6月末在庫量は、玄米の取扱数量が年間500トン以上の届出事業者の在庫量に10a以上の作付生産者の在庫量推計値を加えたものである。なお、10a以上の作付生産者の在庫量推計値については、「生産者の米穀在庫等調査」（農林水産省大臣官房統計部、令和2年11月4日公表）の「令和2年6月30日現在の在庫量」（確定値）を基に推計したもの。
- 注3:需要実績については、収穫後の主食用米等が保管されている倉庫等において、台風による水濡れ等の被害があった主食用米等の数量を除いている。
- 注4:ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(参考) 6月末民間在庫量の推移

(単位:万トン)

	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年
民間在庫	213	175	182	184	161	212	216	181	180	224	220	226	204	199	190	189	200

その他詳細な内容は、下記URL「米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針」をご覧ください。
 URL:http://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/beikoku_sisin/attach/pdf/index-1.pdf

(2) 全国の令和2/3年及び令和3/4年の需要見通し（推計値）

- 令和2/3年及び令和3/4年の需要見通しについては、平成30年11月の基本指針において採用した下記手法により算出し、令和2/3年を716万トン、令和3/4年を705万トンと見通す。

【需要見通しの算出方法】

- 平成8/9年から令和元/2年までの需要実績をそれぞれ当該年の人口で除し、各年の1人当たり消費量を算出
- ①で算出した値を用いたトレンド(回帰式)で、令和2/3年(令和2年7月から令和3年6月まで)及び令和3/4年(令和3年7月から令和4年6月まで)の1人当たり消費量(推計値)を算出
- ②で算出した値に令和2年及び令和3年の人口(推計値)を乗じて算出

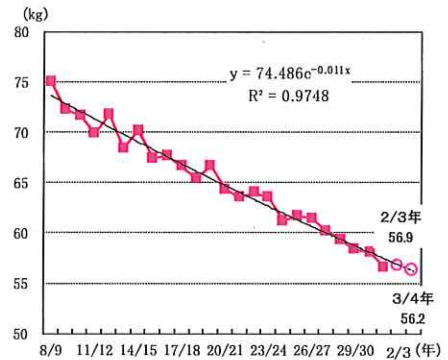
① 平成8/9年から令和元/2年までの1人当たり消費量を算出

年	需要実績 ①	人口 ②	1人当たり消費量 ①/②
	万トン	千人	kg
8/9	943.8	125,859	75.0
9/10	912.9	126,157	72.4
10/11	907.3	126,472	71.7
11/12	885.9	126,667	69.9
12/13	911.5	126,926	71.8
13/14	872.1	127,316	68.5
14/15	894.7	127,486	70.2
15/16	861.6	127,694	67.5
16/17	865.4	127,787	67.7
17/18	851.7	127,768	66.7
18/19	837.5	127,901	65.5
19/20	854.5	128,033	66.7
20/21	823.6	128,084	64.3
21/22	814.1	128,032	63.6
22/23	820.0	128,057	64.0
23/24	813.3	127,834	63.6
24/25	781.1	127,593	61.2
25/26	786.6	127,414	61.7
26/27	782.5	127,237	61.5
27/28	766.2	127,095	60.3
28/29	754.0	126,933	59.4
29/30	739.6	126,706	58.4
30/元	734.6	126,443	58.1
元/2	714.4	126,167	56.6

注：人口は、総務省「人口推計」の各年10月1日現在の値である。

② 令和2/3年及び令和3/4年の1人当たり消費量(推計値)を算出

年	x	1人当たり消費量(y)
8/9	1	75.0
9/10	2	72.4
10/11	3	71.7
11/12	4	69.9
12/13	5	71.8
13/14	6	68.5
14/15	7	70.2
15/16	8	67.5
16/17	9	67.7
17/18	10	66.7
18/19	11	65.5
19/20	12	66.7
20/21	13	64.3
21/22	14	63.6
22/23	15	64.0
23/24	16	63.6
24/25	17	61.2
25/26	18	61.7
26/27	19	61.5
27/28	20	60.3
28/29	21	59.4
29/30	22	58.4
30/元	23	58.1
元/2	24	56.6
2/3	25	56.9 (推計値)
3/4	26	56.2 (推計値)



③ 令和2/3年及び令和3/4年の1人当たり消費量(推計値)に令和2年及び令和3年の人口(推計値)を乗じて需要見通しを算出

	2/3年	3/4年
1人当たり消費量(推計値) ①	56.9kg	56.2kg
	2年	3年
人口(推計値) ②	125,880千人	125,389千人
	2/3年	3/4年
需要見通し ①×②	715.8万トン	705.3万トン

注1：人口(推計値)は、令和2年については「人口推計(総務省、令和2年10月20日公表)」の総人口(令和2年10月1日現在(概算値))。以下「令和2年10月現在人口」という。)、令和3年については令和2年10月現在人口に「日本の将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所、平成29年4月10日公表)」の令和2年10月1日から令和3年10月1日までの総人口(出生中位・死亡中位推計)の減少率を乗じて算出した値。

注2：図中の需要見通しは、1人当たり消費量(推計値)の実数に、人口(推計値)の実数を乗じて算出した値のため、図中の1人当たり消費量(推計値)(小数点第2位を四捨五入)に人口(推計値)(小数点第1位を四捨五入)を乗じて算出した値とは一致しない。

(3) 令和2/3年及び令和3/4年の需給見通し

- 主食用米等の需要量の見通しは、算出した716万トンから新型コロナウイルス感染症の影響等の特別な要因による需要減少量（推計値）5万トンを差し引いた711～716万トンまでの幅をもって設定し、令和3年6月末民間在庫量は207～212万トンと見通す。
- 令和4年6月末民間在庫量の水準は、需給緩和傾向を早期に抑えるため、令和2年6月末民間在庫量（200万トン）を超えない水準となるものとして、令和3年産主食用米等生産量（見通し）は693万トンと設定。
- 令和3/4年主食用米等の需要量の見通しは、従来手法で推計すると705万トン。

2/3年の需給見通し

（単位：万トン）

令和2年6月末民間在庫量	A	200
令和2年産主食用米等生産量	B	723
令和2/3年主食用米等供給量計 C=A+B		923
令和2/3年主食用米等需要量	D	711 ~ 716
令和3年6月末民間在庫量	E=C-D	207 ~ 212

【参考：令和2年10月16日変更時の基本指針における令和3/4年の主食用米等の需給見通し】

3/4年の需給見通し

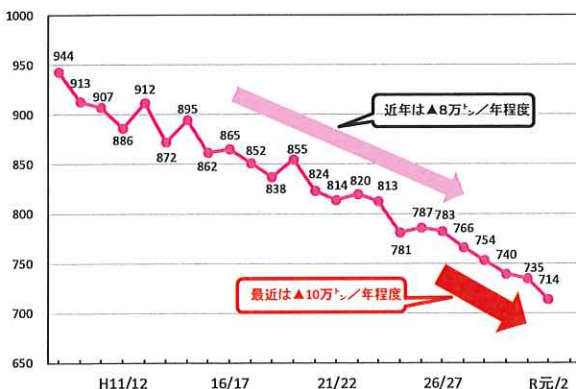
（単位：万トン）

令和3年6月末民間在庫量	E	207 ~ 212	207 ~ 212	221 ~ 227
令和3年産主食用米等生産量	F	693	692	679
令和3/4年主食用米等供給量計 G=E+F		900 ~ 905	899 ~ 904	900 ~ 906
令和3/4年主食用米等需要量	H	705	705	704
令和4年6月末民間在庫量	I=G-H	195 ~ 200	194 ~ 199	196 ~ 201

過去最大の作付削減面積と同規模の面積を削減した場合の参考値

- 注1：「主食用米等」の中には、主食用に供給されるもののほか、加工用途及び輸出用に供給されているもの一部が含まれている。
 注2：令和2/3年主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向等によって、今後、変動する可能性がある。
 注3：上記の需給見通しのほか、第4の2のSBS方式による輸入予定数量を最大とした数量が主食用米等として流通する見通し。
 注4：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(参考) 主食用米の需要量の推移



(参考) 相対取引価格と民間在庫量

